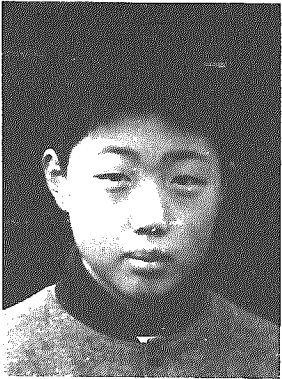


# いい顔、ありがとう

(中央保育園で)



●この広報紙にあなたが  
写っていましたら、総務課  
企画係(電話四一―一内線  
二〇二)へご連絡ください。  
写真をさしあげます。



幸田 克彦くん(和小五年)

## 見事！銅賞受賞

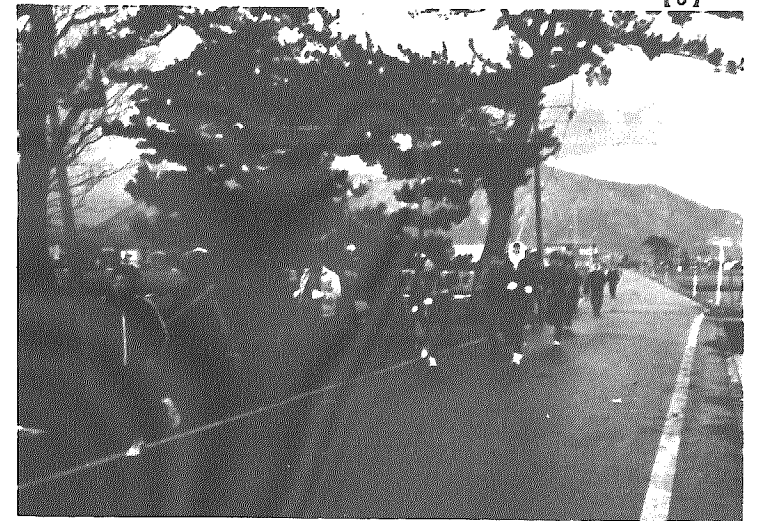
農協共済小・中学生書道全国コンクール

昨年の秋に行われた県の農協共済小・中学生書道コンクールで小学校五年生糸幅の部で金賞を受賞した和納小学校の幸田克彦くん(十一歳)は「五年生」の作品が全国コンクールに出品(県下で十八人)され、このほど見事銅賞(全国で三人)に輝きました。学校側では「やれば出来ることを実証してくれた」と大喜び。幸田くんは、実家が書道塾を開いている影響もあってか最低週一回の練習は欠かしたことがない、という頑張り屋。「書道の基本をマスターしているため字配りもよく、筆(字)に勢い

# 豊かには大地

## 雨あがりのスタート 高橋地区元旦マラソン

1986年の元旦。村内の積雪は0……。冷たい雨の幕開けとなりました。ところで、高橋地区恒例の元旦マラソンには、地区民約80人の参加がありました。午前7時30分、軽いラジオ体操のあと、子供からお年寄りまでが一斉に神社前をスタート。参加したみなさんは、和納三田団地(12区)の公園までの往復約2キロのコースをジョギング気分で30分あまりをかけて完走!?。新しい年の走り始めを楽しみました。



(写真提供=高橋・高島靖雄さん)

## 気合鋭く……

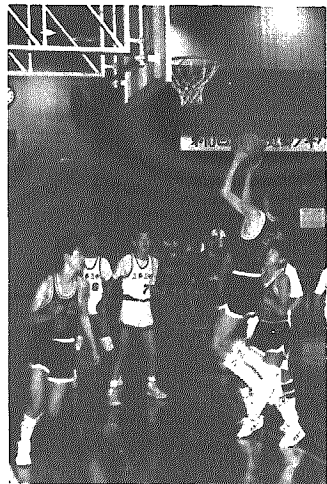
間瀬海岸で寒げいこ



「エイッ、ヤーツノ」という鋭い気合が日本海を駆け抜ける。ひざまで海につかりながらこぶしを突き出す参加者たちは冷たさのあまり真っ赤な肌をしている。これは先月二日、間瀬海岸で行われた岩室空手道会の寒げいこ風景。この恒例の初げいこには保育園児二人を含む六十人が参加。中学生以上は全員海中へ入り、気合を込めて突きを繰り返す。海水を浴びる元氣者もいれば、目にいっぱい涙を浮かべた子もちらほら。髪からしずくを垂らし体を震わせながら参加者たちは、一年の精進を誓っていました。

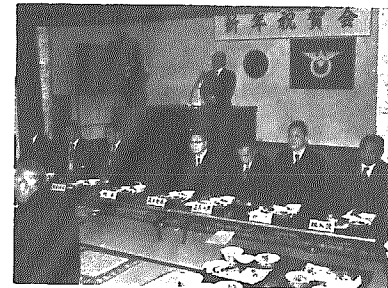
## 分水中が優勝。岩中は3位に

近郷少年バスケットボール大会



先月十九日、村民体育館で「第十回岩室村近郷少年バスケットボール大会」が行われ、郡内をはじめ三条市や白根市などから十二校の中学校が参加して、熱戦をくりひろげました。熱戦の結果は、一位分水中、二位燕中、三位が岩室中と西川中でした。

がある。このところ、各種書道大会ではすべて最高位を受賞している」と指導の鈴木先生もニコリ。それだけに学校では「幸田くんの全国大会での活躍が、在校生にどれだけの励みになったか計りしれない」と褒めた。幸田くんは「今回初めて全国大会へいったけど、自分のレベルがどれくらいかわからなかったが……」と感激もひとしお。「でも習字より野球の方が好きなんだけど」と本音もちょっぴり披露。



人づくりと村の活性化を  
先月七日、恒例の新年祝賀会が議会、各区長のほか村内各層の代表百五十人が参加して老人憩いの家「静閑荘」で開かれました。あいさつに立った村長は「財政的に今年も厳しい年になりそうだが、無駄を省き効率的な運営をしたい。また村の活性化と人づくりに努力したい」と述べた。

## 冬でもたっぷり練習可能……

村民体育館のゲートボール



冬でもたっぷり練習できる村民体育館の室内ゲートボールが好評です。周囲の積雪にもかかわらず、ここだけは練習が可能だからだ。ただ、室内用ボールは床を傷つけない特別なものなので、屋外用ボールに比べ、打ったときに「カチツノ」という快音はないが、練習は十分できると喜ばれています。「冬期間のゲートボール練習場として、村民体育館を開放して欲しい」という愛好者らの要望に公民館が応えたもので、先月七日から開放された。開放日は毎週火曜日から金曜日までの毎日、時間を決めて地区単位で開放している。「成績よりも年間を通して練習できるのがありがたい。おかげで部員みんな健康」とある愛好会の代表は目を細める。

## あれっ！道がない

先月4日、間瀬・下山海水浴場前の県営越後七浦シーサイドラインの道路が幅7m、深さ2mにわたって陥没。このため、すぐ近くの下山ゲートから巻町五ヶ浜ゲートまでの間が12日まで全面通行止めになりました。

巻土木事務所の復旧工事で12日から大型車を除く車両については、下山駐車場を利用して通行は可能となりましたが、全面交通になるのは、原因となった道路下に埋設してある鉄製の排水管を含めた抜本的な改善工事を行ってからといわれ、現在、管の掘り起こし作業中です。